



自転車安全利用促進 条例制定について

こばやし
小林ひとみ 議員



第11次鶴ヶ島市安全計画に基づき 取り組んでいく



問 小・中学生への自転車安全
利用教育の取組は。

答 各学校では、安全教育全体
計画に基づき、児童・生徒の発
達段階に応じた自転車の安全な
利用方法に関する交通安全教育
を、自転車安全利用指導員に委
嘱された教員が中心となって実
施している。このほか、交通指
導員や西入間警察署の方を外部
講師として招き、交通安全教室
などを行っている。

問 高齢者への自転車安全利用
対策は。

答 高齢者は、加齢に伴う認知
機能や身体機能の低下により交
通事故を起こすリスクが高まる。
このため、毎年、高齢者自転車
安全利用講習会を開催し、警察
署員による講話や自転車シミュ

レーターによる自転車の乗り方
教室を実施している。

問 自転車安全利用促進条例を
制定することは。

答 市独自の条例制定の予定は
ないが、第11次鶴ヶ島市交通安
全計画に基づき、引き続き自転
車利用に係る安全対策にしまつ
りと取り組んでいく。

◎その他の質問

一 英語教育の更なる強化につ
いて

二 イエローチョーク作戦につ
いて



農大跡地周辺の現状 と今後の取組

うちの
内野 嘉広 議員



多くの方に喜ばれる魅力的な エリアになるよう取組む

問 県によるSAITAMAロ
ボティクスセンターの進捗状況
について。

答 社会的課題解決に資するロ
ボット開発の支援を目的として、
埼玉県が整備するものである。
屋外に整備する模擬市街地フィ
ールド等の（仮称）ロボット開
発支援フィールドや屋内フィー

ルドなどが入る（仮称）ロボッ
ト開発イノベーションセンター
から構成されるとのことである。
本年度は実施設計が進められ
る予定と聞いている。

問 鶴ヶ島市運動公園内の今後
の整備について。

答 太田ヶ谷沼にある親水デッ
キの老朽化のため、昨年度管理

問 鶴ヶ島グリーンパーク整備
の今後について。

答 今年度は、あずま屋、太田
ヶ谷の森に管理棟、多目的広場
2に夜間照明灯を整備するため
の設計業務を実施する。

棟側のデッキをリニューアルし
た。また、自然観察の森のピオ
トープ池が土砂などの堆積で水
深が浅くなり、水質も悪化した
ため、しゅんせつを実施した。
今年度は南側の親水デッキのリ
ニューアルを実施する。
今後も改修などを計画的に実
施し、安全、快適に公園を利用
できる環境の維持に努める。



インターチェンジと接続した都市計画道路
川越鶴ヶ島線